

辻泰弘 国会ニュース

つじやすひろ Kokkai News 2002年5月17日 NO. 12

厚生労働委員会で国会質問第8弾！ 燃える男、「冷蔵庫のように冷たい政府」を質す！！



皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

国会では、議員の金権不祥事、「辞任ドミノ」、外務省の前分析官逮捕、中国総領事館事件など、政治・行政の根幹が問われる事態が相次いで発生し、国民生活向上のための政策運営が機能不全と言わざるを得ない状況です。

この国会ニュース、4月中の想定された3回の委員会質問（実際は2回となった）、4月半ばが予定であった初めての本会議質問（実際は連休明けとなった）の準備のため、4月1日のNo.11以来、暫し発信がとどこおってしまい、誠に申し訳ございませんでした。

愛読者の皆さんには、いつかいつかと一日千秋の思いでお待ち頂いたことと存じます。何分、ご承知の通りの、あの「燃える男・全力投球の辻泰弘」のことでございます。

その辻泰弘が、心血を注いで作成し、お送りしている、この国会ニュースが遅れる程の状態。どうか、その「超・忙しさ」をお察し下さり、ご容赦下さい。

現在、No.13、No.14のネタが既に議事録の姿となって、発信を待っている状態です。

さて、私、辻泰弘は、4月16日、参議院厚生労働委員会において国会8度目の質問を行いました。同日は、厚生労働行政全般を対象とする一般質問でした。

多岐にわたる質問でしたが、いずれも庶民の生活に密着したテーマばかり。

どうぞ、久方ぶりの辻泰弘の「切れ味」。是非、ごゆっくりご賞味下さい。

なお、次号、次次号の予定は以下の通りです。このニュースも、予告編がでるまでに成熟しました。涙がにじむ思いです。

[No.13]・・・厚生労働委員会質問「障害者雇用促進法改正について」（4月23日）

[No.14]・・・参議院本会議質問「平成12年度決算について」（5月8日）

以下、4月16日の質疑の概要をご報告いたします。

◆ワールドカップサッカーへの対応！

辻泰弘 サッカーのワールドカップ開催が近く、バイオテロが懸念される。

感染症発生、天然痘ワクチンの体制は十分整っているか。

今田 厚生労働省審議官 皮膚の水疱、呼吸器症状など、感染症の異常発生の早期察知のための情報収集体制を整備。サッカー期間中、特別対応を維持する。天然痘ワクチンは250万人分を確保した。

◆冷蔵庫購入を生活保護の対象とせよ！

辻 泰弘 厚生労働省は、3月、生活保護の最低生活費の対象に、冷蔵庫、テレビ、電子レンジなどを認定するのは適当でないとの見解を初めて示した。

小まめに食料品を買えばいい、という行政の見解は冷たい。生活にかかわる冷蔵庫は他の機器とは質が違う。

冷蔵庫が物を冷たくするためのものだからといって、それに関する行政も冷たくてよいものではない。

冷蔵庫は、最低生活に入れるのが社会通念ではないか。

眞野 厚生労働省社会・援護局長

必要不可欠で、緊急やむを得ない場合には支給している。食生活に不可欠な冷蔵庫と、テレビなどを同列に例示したことは、言葉足らずで反省している。

辻 泰弘 実態面で冷たくなならないよう、取り扱ってもらいたい。

◆高齢者の医療保険制度について

辻 泰弘 後期高齢者の独立型医療保険制度の創設を唱える大臣の見解を伺いたい。

坂口 厚生労働大臣 高齢者医療問題は、医療制度改革の最大の課題であり、努力したい。独立方式は一つの有力な方法だ。

◆シックハウス対策の推進を！

辻 泰弘 シックハウス対策については、国土交通省が、建築基準法の改正で材料の規制を導入したが、環境衛生管理基準を改正し、建築物に対する規制も行うべきだ。

田村 厚生労働大臣政務官

今年の夏ごろまでに、建築物衛生管理検討会の結論を得て、対応したい。

◆都道府県別失業率の毎月提示を！

辻 泰弘 都道府県別失業率の必要性、有用性をどう考えているか。

大戸 総務省統計局長

厳しい雇用情勢下、より詳細なデータの提供は極めて重要。しかし、コストが大変。

坂口 厚生労働大臣 総務省でも努力している。できるところから実施して頂きたい。

◆均等待遇のための基本法を！

辻 泰弘 パート・派遣などの短時間労働に対する公正・均等待遇の確保には、労働時間による差別を禁止する立法が必要だ。

坂口 厚生労働大臣

正社員の働き方も検討しつつ、パートと正社員の処遇均衡問題の結論を出したい。

◆四要件に基づく解雇ルール法制化を！

辻 泰弘 解雇基準、解雇ルールの法制化は、人員削減の必要性、解雇回避の努力、解雇対象者選定の合理性、労使協議など手続きの妥当性という東京高裁の判例四要件が前提の立法化であるべきだ。

坂口 厚生労働大臣

解雇ルールは、明確にしておいたほうがよい。今国会での法案提出は不可能だが、今後、精力的に議論し、結論を得たい。

◆派遣労働の無原則な拡大はやめよ！

辻 泰弘 派遣労働の規制緩和が閣議決定されているが、雇用・労働・安全・衛生・環境などの社会的規制に、単純な規制緩和の論理を当てはめても、国民生活向上には必ずしもつながらない。

澤田 厚生労働省職業安定局長

派遣法改正後の施行状況を検証し、労使の意見も十分踏まえて、議論を進める。

◆規制改革特区について

辻 泰弘 規制改革会議で検討されている雇用特区、医療特区などの規制改革特区についての見解を伺いたい。

坂口 厚生労働大臣

社会保障関係、とりわけ厚生労働分野で特区をつくと、格差が生まれる可能性があり、慎重に議論すべきだと考えている。

◆パートの雇用保険加入を確保せよ！

辻 泰弘 要件を満たしたパート労働者を雇用保険に加入させていない会社が多い。実状を把握し、対策を講じるべきだ。

澤田 厚生労働省職業安定局長

適用要件を周知徹底するとともに、労働保険事務組合を通じ、加入促進に努めたい。

◆若年者の雇用確保に全力を！

辻 泰弘 若い方々の雇用環境が大変厳しい。トライアル雇用などを推進すべきだ。

澤田 厚生労働省職業安定局長

未就職者のリスト作成、安定所への登録、職業指導、職業講習、トライアル雇用適用など、文部科学省、学校と協力しつつ、緊急対策として取り組んでいる。

◆看護要員の確保、看護体制の充実を！

辻 泰弘 日本の看護体制は、1 病床あたりの看護要員数の国際比較から見ても、現実の夜間の看護状況から見ても、十分なものとは言えない。看護体制を充実すべきだ。

坂口 厚生労働大臣 看護婦さんの人数は、諸外国に比べて少ないことはない。

日本のベッド数が諸外国に比べて、非常に多いのが問題だ。

日本の医療は非常に忙しいのが特徴。看護婦さんに、もっと落ち着いて、ゆとりを持って仕事ができるような医療制度改革が求められていると思っている。

◆年金受給無資格者の救済を！

辻 泰弘 70 歳までに 25 年の資格期間を満たさない人は、遺族年金、障害年金の権利にはつながるものの、保険料納付が老齢年金の受給には結びつかない。何らかの救済措置が必要ではないか。

辻 哲夫 厚生労働省年金局長

負担能力のない人には免除制度があり、25 年の資格期間を満たすことは無理ではない。日本の年金制度は、世代間扶養の仕組みが基本であり、自分の納めた保険料が戻ってくるという考え方は取っていない。

◆二重払い回避のための年金協定を！

辻 泰弘 海外勤務の場合の社会保険料の二重払い回避のための年金協定の進捗状況はどうか。

辻 哲夫 厚生労働省年金局長

現在、ドイツとイギリスで結ばれている。アメリカとは正式の協定交渉を行っている。フランス、韓国、ベルギーとも交渉に向けた準備を進めている。

ご意見・ご要望等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

< 兵庫県事務所 > TEL078-230-8824 / FAX078-230-8825

< 東京事務所 > TEL03-3508-8402 / FAX 03-5512-2402